

報道関係各位

2019年9月11日

株式会社 童夢

FIA FORMULA REGIONAL 規格レース車両『童夢 F111/3』が完成
2020年からの選手権開催を目指す

株式会社 童夢（本社：滋賀県米原市、社長：高橋拓也、以下、童夢）では、従来のF3に代わるカテゴリーとしてFIAが世界で導入を進めているFORMULA REGIONAL certified by FIA（フォーミュラ・リージョナル）に適合した『童夢 F111/3』を開発し、シェイクダウンを行いました。またこのマシンを使用した日本国内選手権の開催準備も、FORMULA REGIONAL JAPANESE CHAMPIONSHIP 事務局が進めております。



■ FIA FORMULA REGIONAL (FIA フォーミュラ・リージョナル) とは

FIA FORMULA REGIONAL は 2014 年から国際自動車連盟 (Fédération Internationale de l'Automobile 以下、FIA) が開始した F1 を頂点とする単座席競技車両 (Single Seater : 通称フォーミュラ車両) のカテゴリ再編と新安全規格導入に伴い制定された新カテゴリです。技術規則は 2018 年に批准され、すでにアジア、アメリカ、ヨーロッパでシリーズが開始されています。

主な特徴は、前後に加え左右にも備わる衝撃吸収構造体の追加設定、HALO デバイス (頭部保護装置) の設置など FIA の設定した最新のレギュレーションに則った車両となっています。また、F1 を頂点とするパワー・ウェイト・レシオによる新区分の採用で、FIA-F4 の直接の上位規格となります。

コスト面に関しては車体€77,000、エンジン€23,000 と、FIA FORMULA REGIONAL の価格は FIA の設定した世界標準の規定価格 (キャッププライス) となります。またスペアパーツなどもキャッププライスに適合させるため、従来の F3 に比べ大幅にランニングコストが低減されることとなります。

■ 童夢 F111/3 について

童夢は FIA の FORMULA REGIONAL 規格策定の段階から参画しており、2018 年に規格が批准されてから直ちに童夢 F111/3 の基礎設計を開始しました。

『F111/3』は、鈴鹿レーシングスクールカーの専用車両、FIA-F4、F3、F3000、F1 まであらゆる規格のフォーミュラカー、スポーツカー、GT 車両を開発、製造してきた童夢の最新設計車両となります。

『F111/3』は、2014 年に完成した前作の FIA-F4 規格車両『F110』から 5 年ぶりとなる新型モデルですが、新モデルナンバーの『F111』を付与している通り、前作の『F110』とは共用部品のない、全く新しい量産競技車両となっております。モデルナンバーの後の『/3』は、種目を表しており、今後、この『F111』のサバイバルセルを利用した派生モデル展開が随時可能な設計となっております。また『F111/3』は FIA より同規格の承認を受ける 3 番目の車両となっております。

『F110』同様に FIA 規格準拠車両であり、車両価格だけでなく、全ての部品の価格にいたるまで FIA の承認を得た「世界規格車両」となります。

今回完成した『F111/3』の特徴は、FIA が今後導入を検討している人間工学を最優先したデザインを先行して導入し、操縦者の身長体重の違いによる居住性、操縦性を向上させたこと。また規定価格内で、高温多湿の日本のレース環境に対応するパワーユニット冷却性能、整備性確保も達成いたしました。

『F111/3』のカーボンファイバー (CFRP) 製モノコックは、FIA F4 マシン『F110』をさらに発展させたもので、高剛性、軽量に加えてヘイローの装着など FIA の定める高い安全性を両立。ボディワークも全て CFRP 製で、徹底した構造技術解析と空力特性の追求により、レギュレーションで定められた最低重量 650kg をクリアしながら、高剛性、低重心で良好なハンドリング性能を実現しました。エンジンは最高出力 270bhp の 1750cc 直列 4 気筒インタークーラー付きターボを搭載。ギヤボックスは 6 速バドルシフト付きとなります。



■岡山国際サーキットでシェイクダウン成功

完成したマシンは、9月10日、11日に岡山国際サーキットにおいて、フォーミュラからGTまで幅広い経験をもつ加藤寛規選手と、FIA FORMULA REGIONAL規定で行われているアジアンF3に参戦している金丸ユウ選手によってシェイクダウンされました。大きなトラブルもなく、高剛性のシャシー、ドライバー・オリエンテッドのドライビングポジション、高い信頼性など、設計段階で童夢F111/3が目指した姿が、しっかり実現していることが確認できました。尚、先日の全日本F3選手権にて念願の初表彰台を獲得した片山義章選手により、引き続きテストが実施されます。

●加藤寛規選手のコメント

シェイクダウンという事でトラブルシューティングを目的と思って乗り込みましたが、色々な乗り方を試しても車体にトラブルも無く、感触は良かったです。コックピットも広く居住性にも優れていました。また、様々な車両に乗ってきましたが、しっかりとダウンフォースが出ていて安定しているので、ジェントルマンドライバーの方にも乗ってもらえると思います。

●金丸ユウ選手のコメント

シェイクダウンテストという事だったのでトラブル出しがメインのセッションになると思われましたが、僕の2セッションはインターク以外の所、マシン自体のテストをしっかりこなすことが出来ました。テストではセットアップの面でも色々試すことができ、とても初めて車を転がすとは思えないほどの出来栄でした。

■2020年からFORMULA REGIONAL JAPANESE CHAMPIONSHIPを開催

FORMULA REGIONAL JAPANESE CHAMPIONSHIP事務局では、2020年から童夢F111/3を使用したFIA公認レース、FORMULA REGIONAL JAPANESE CHAMPIONSHIPの開催準備を進めております。詳細に関しましては9月27日、SUPER Formula第6戦が行われる岡山国際サーキットにおいて記者会見を行い、発表する予定です。

■ レースに関するお問い合わせ

FORMULA REGIONAL JAPANESE CHAMPIONSHIP 事務局 (FRS)

住所：〒521-0013 滋賀県米原市梅ヶ原 2462 番地

担当：福永亜希子

TEL：0749-52-3232 e-mail:fukunaga@fia-fr.jp

URL：<https://fia-fr.jp>

■ 童夢 F111/3 の車両、販売等に関するお問い合わせ

株式会社 童夢

住所：〒521-0013 滋賀県米原市梅ヶ原 2462 番地

担当：有松義紀

TEL：0749-52-3232 e-mail:arimatsu-yoshinori@dome.co.jp